

### (記入例)

(様式 1 - A表)

# 2025年度 業績優秀者返還免除申請書

西曆 2026 年 ○ 月 ○ 日

# 独立行政法人日本学生支援機構理事長殿

私は以下について承知したうえで、特に優れた業績による返還免除を申請します。なお、本申請書記載内容に相違はありません。

- ・免除認定を受けた場合、認定後に日本学生支援機構が行う特に優れた業績による返還免除に関するアンケートや調査に協力することに同意します。
- ・(2023年度以降に博士（後期）課程及び博士医・歯・薬・獣医学課程において第一種奨学生として採用された者のみ) 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」又は「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」又は「国家戦略分野の若手研究者育成事業（BOOST）次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」の免除が取り消されることを承知しています。

フリガナ キコウ タロウ  
氏名 機構 太郎

旧姓があり、旧姓で表記されている業績がある場合は、「機構(奨学)太郎」のように、旧姓を( )書きしてください。

大学院名	修士学生はここを■に		東京藝術大学大学院		博士学生はここを■に	
課程 該当の課程の□を にしてください	<input checked="" type="checkbox"/> 修士（博士前期）課程	<input type="checkbox"/> 専門職学位課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士（博士後期）課程			
研究科名・専攻名	○○研究科 ○○専攻		学籍番号	○○○○○○○○ (sはつけない)		
奨学生番号	6 ○ ○	0 6 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	生年月日	西暦 19○○ 年 ○ 月 ○ 日		

□ 上記で選択した課程において、内定者として認定されている。

※該当する場合のみ □を■にしてください

## 大学院における研究課題等

専攻分野に問わらず必ず記入

「業績評価書」と「業績資料」に記入した資料番号と一致させる。  
「業績評価書」と「業績資料」は、重要度の高い業績から順番に記入するため、必ずしも左記「業績の種類」の番号とは一致しない。

概要

(1) 業績の種  
(2) 必要にあ

博士課程の学生は、ガイドラインを満たしている業績の資料を最低1点必ず提出すること。

返還免除内定者、「音楽、演劇、美術その他の発表会における成績」又は「スポーツの競技会における成績」を業績とする者を除き

「学位論文その他の研究論文」の提出は必須。

資料番号の記入例は、重要度の高い順に、以下の5つの業績を申請するケースです。

- ・博士論文及び研究作品【第5条(1)イ】
  - ・コンペで入賞【第5条(8)イ】
  - ・個展を開催【第5条(8)ロ】
  - ・授業科目の成績【第5条(6)ロ】
  - ・ティーチングアシスタント【第5条(7)イ】

業績の種類					資料番号	機関に提出	
1	学位論文その他研究論文	学位論文	必要項目：①申請者名 ②論文タイトル 例：①機構太郎 ②「(論文タイトル)」			1	
		研究論文	査読付き 原著論文	受賞 ・表彰	※査読付き原著論文の有無、論文題目、著者名、受賞年月日等を記載してください。  必要項目：①申請者名 (著者名、共著者名) ②論文タイトル ③論文内容の概要 ④学術雑誌名等 ⑤学術雑誌発行年  例：①機構太郎 ②「(論文タイトル)」 ③資料1-2参照 ④「令和7年度○○学会誌」⑤2025年		
			○		例：①機構太郎、奨学花子 ②「(論文タイトル)」③資料1-3参考 ④「令和8年度○○学会誌」、⑤2026年3月(予定)		
				○	必要項目：①申請者名 (発表者名、共同発表者名) ②題目 ③会議名 ④発表年 ⑤表彰、受賞等  例：①機構太郎 ②「(題目)」③令和6年度○○学会定例会 ④2024年 ⑤表彰、受賞なし		
				○	例：①機構太郎 ②「(題目)」③令和7年度○○学会定例会 ④2025年 ⑤優秀ポスター賞		
日本学術振興会の特別研究員に採用、または、民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退					必要項目：①申請者名 ②年度 ③特別研究員採用又は競争的資金獲得情報 例：①機構太郎 ②2025年 ③特別研究員採用  ※日本学術振興会の特別研究員DC2に採用され、奨学金を辞退した (資料は「特別研究員 証明書」など)		

\*論文及び学会での発表により機関以外の給付奨学金や外部資金を獲得した場合は、「研究論文」又は「学会での発表」の欄に記入し、「受賞・表彰」欄に○をつけてください。

業績の種類		資料番号	機構に提出
2 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	※修士課程の学生のみ対象 必要項目：①申請者名 ②研究の成果 例：①機構太郎 ②修了制作「(タイトル)」 ○○財団の「○○賞」を受賞（専攻で1名選ばれる優秀作品として受賞）	本学選考基準第5条(2)の業績に該当	
3 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	※修士課程の学生のみ対象	本学で該当する業績がないため記入不可 欄は削除せずにこのまま残しておくこと（行間を狭めることは可）	
4 (専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)	必要項目：①申請者名 ②著書、データベース等のタイトル ③著書、データベース等の概要 ④発行年 例：①機構太郎 ②「(タイトル)」 ③資料参照 ④2026年	本学選考基準第5条(4)の業績に該当 申請要領5、6ページを参照すること	
5 (専攻分野に関連した)発明	必要項目：①申請者名 (発明(考案)者名) ②特許等の出願日あるいは認定日 ③特許等の出願時あるいは登録時に付与される番号 例：①機構太郎 ②登録日 2026年X月X日 ③特許番号 XXXXXX 出願番号の例：2026-123456、特願令07-123456 登録番号の例：特許 第1234567号	本学選考基準第5条(5)の業績に該当 申請要領6ページを参照すること	
6 (専攻分野に関連した)授業科目の成績	必要項目：①申請者名 ②成績の詳細 ③年度 例：①機構太郎 ②資料6-1参照 ③2024年～2026年  ※成績優秀者に受給される学内奨学金「●●賞」を受賞 (資料は採用通知および選考基準など)	本学選考基準第5条(6)の業績に該当 申請要領6ページを参照すること	
7 (専攻分野に関連した)研究又は教育に係る補助業務の実績	必要項目：①申請者名 ②研究プロジェクト名あるいは授業名 ③年度 例：①機構太郎 ②「情報工学基礎Ⅰ」でティーチング・アシスタントを担当 ③2025年  ※複数の期間にわたって同様の補助業務を行っているが、複数の期間でも一期間でもひとつの業績として評価される場合は、一期間の業績のみにしてください。複数の期間の記載及び資料の添付は不要です。	5 本学選考基準第5条(7)の業績に該当 申請要領6、7ページを参照すること	
8 (専攻分野に関連した)音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	必要項目：①申請者名 ②発表会名 ③年度 ④成績(●●人中●位)など 例：①機構太郎 ②第N回○○コンテスト ③2024年 ④最優秀賞  ※発表会等の内容、レベル(国際的・国内的等)、対象等について記載 (資料は賞状、新聞記事、または第三者の評価など)	2 3 本学選考基準第5条(8)の業績に該当 申請要領7ページを参照すること	
9 (専攻分野に関連した)スポーツの競技会における成績		本学で該当する業績がないため記入不可 欄は削除せずにこのまま残しておくこと（行間を狭めることは可）	
10 (専攻分野に関連した)ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)	必要項目：①申請者名 ②イベント等の名称 ③年度 例：①機構太郎 ②「夏休み絵画教室」 ③2025年  例：①機構太郎 ②「○○市XX事業ボランティア」 事業で使用する利用者登録システムの構築に対し助言を行った。 ③2026年	本学選考基準第5条(10)の業績に該当。 申請要領7ページを参照すること。	